

2015年
2.14^土—3.6^金
3週間限定公開!

今、あなたはこの映画を見て
何を感じるのか?

—アウシュヴィッツ強制収容所解放から70年—
全人類が共有するべき世紀の映像遺産!
ホロコーストの“記憶”を“記録”した
傑作ドキュメンタリー3本!

「SHOAH ショア」
SHOAH (1985)

「ソビブル、1943年10月14日午後4時」
SOBIBOR, 14 OCTOBRE 1943, 16 HEURES (2001)

「不正義の果て」
LE DERNIER DES INJUSTES (2013)

監督：クロード・ランズマン
TROIS FILMS DE CLAUDE LANZMANN

© Les Films Aleph

「SHOAH ショア」「ソビブル、1943年10月14日午後4時」「不正義の果て」
2.14^土—3.6^金 3週間限定ロードショー!

自由席・整理番号制・定員入替制／「SHOAH ショア」は第1部、第2部、第3部、第4部に分かれています。

2/14 (土)	2/15 (日)	2/16 (月)	2/17 (火)	2/18 (水)	2/19 (木)	2/20 (金)
10:45 ショア 第1部	10:45 ショア 第1部	10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第3部	10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第3部	10:45 ショア 第1部
13:40 ショア 第2部	13:40 ショア 第2部		13:30 ショア 第4部		13:30 ショア 第4部	13:40 ショア 第2部
15:55 ショア 第3部	15:55 ショア 第3部	14:45 ショア 第1部	16:20 不正義の果て	14:45 ショア 第1部	16:20 不正義の果て	16:20 不正義の果て
18:35 ショア 第4部	18:35 ショア 第4部	17:35 ショア 第2部		17:35 ショア 第2部		
21:15 ソビブル	21:15 ソビブル	20:30 ソビブル	20:30 ソビブル	20:30 ソビブル	20:30 ソビブル	20:30 ソビブル
2/21 (土)	2/22 (日)	2/23 (月)	2/24 (火)	2/25 (水)	2/26 (木)	2/27 (金)
10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第1部	10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第1部	10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第1部	10:45 不正義の果て
	13:40 ショア 第2部		13:40 ショア 第2部		13:40 ショア 第2部	
14:45 ショア 第3部	16:20 不正義の果て	14:45 ショア 第3部	16:20 不正義の果て	14:45 ショア 第3部	16:20 不正義の果て	14:45 ショア 第3部
17:40 ショア 第4部		17:40 ショア 第4部		17:40 ショア 第4部		17:40 ショア 第4部
20:20 ショア 第1部	20:20 ショア 第1部	20:20 ショア 第2部	20:20 ショア 第1部	20:20 ショア 第2部	20:20 ショア 第1部	20:20 ショア 第2部
2/28 (土)	3/1 (日)	3/2 (月)	3/3 (火)	3/4 (水)	3/5 (木)	3/6 (金)
10:45 ショア 第1部	10:45 ショア 第1部	10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第3部	10:45 不正義の果て	10:45 ショア 第1部	10:45 ショア 第1部
13:40 ショア 第2部	13:40 ショア 第2部		13:30 ショア 第4部		13:40 ショア 第2部	13:40 ショア 第2部
15:55 ショア 第3部	15:55 ショア 第3部	14:45 ショア 第1部	16:20 不正義の果て	14:45 ショア 第1部	15:55 ショア 第3部	15:55 ショア 第3部
18:35 ショア 第4部	18:35 ショア 第4部	17:35 ショア 第2部		17:35 ショア 第2部	18:35 ショア 第4部	18:35 ショア 第4部
21:15 ソビブル	21:15 ソビブル	20:30 ソビブル	20:30 ソビブル	20:30 ソビブル	21:15 ソビブル	21:15 ソビブル

鑑賞料金の御案内

当日 一般 1,800 円 シニア 1,200 円 会員 1,100 円 学生 900 円
ショア通し券 ¥4,500 [2/14 (土)・15 (日)・28 (土)・3/1 (日)・5 (木)・6 (金)] 各日限定 ※ご購入日のみ有効
※3/1の映画サービスデー料金は適応されません。

各種前売券1月24日(土)より発売! ※2月13日(金)までの販売になります。

<前売券の種類は下記3種になります> ※下記の日程の「SHOAH ショア」は日時指定通し券をお持ちの方を優先的にご案内します。あらかじめご了承ください。
(2/14 (土)、15 (日)、28 (土)、3/1 (日)、5 (木)、6 (金))

①4回券 ¥4,400 ②2回券 ¥2,600 ※3作品どの作品にもご使用いただけます。但し「SHOAH ショア」は各部に1回券ずつ必要。
※別途、ご来場当日に整理券との引換が必要です

◆インターネット購入：メイジャー <https://www.major-j.com/>
◆店頭購入：[渋谷] シアター・イメージフォーラム劇場窓口、新宿紀伊國屋本店1FDVD アイランド
※4回券、2回券ご購入者にポストカードをプレゼント。

③「SHOAH ショア」日時指定通し券 ¥4,000 ([2/14 (土)・15 (日)・28 (土)・3/1 (日)・5 (木)・6 (金)] の6日間分)
※整理券番号付き・優先的に入場頂けます。
※予定枚数に達した時点で発売終了になります。各日計60枚の前売券を用意しております。ぴあにて30枚、シアター・イメージフォーラムにて30枚。
※別途、ご来場当日に整理券との引換が必要です

◆チケットぴあ チケットぴあホームページ、電話予約、店頭購入でお取り扱いします。
(HP) <http://t.pia.jp/> 〈電話〉0570-02-9999 〈Pコード〉553-891
※電話でのご予約には、チケット代金以外にシステム利用料、発券手数料がかかります。ご予約の際にご案内しますので必ずご確認ください。
また発券期間までに発券いただかないと予約は無効になります。

◆[渋谷] シアター・イメージフォーラム劇場窓口 ※電話での予約購入は承っておりません。

1月末より順次スタート! 映画公開記念／選書フェア「ユダヤ民族とホロコーストを考える」開催!

会場：青山ブックセンター本店、青山ブックセンター六本木店、紀伊國屋書店新宿本店、紀伊國屋書店新宿南店、東京堂書店神田神保町店、MARUZEN&ジュンク堂書店渋谷店、八重洲ブックセンター本店、リプロ池袋本店ほか。詳しくは公式サイトをチェックしてください。

「シアター」
イメージフォーラム
[自由席・整理券制・定員入替制]

TEL.03-5766-0114 | www.imageforum.co.jp

作品というもののもつ力を信頼しよう。
作品は、遅かれ早かれ、その道をひとりで切り開いていく。

クロード・ランズマン

ナチスによって実行されたユダヤ人の強制収容、ホロコースト（大量虐殺）の全貌を関係者の証言のみで構成した“映像記録遺産”の至宝「SHOAH ショア」。1986年ベルリン国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞し、欧米の知識人たちに衝撃を与えたこの作品は我が国で一般上映されるまで実に11年の歳月がかかりました。発表当時日本で最も早くこの映画を紹介したのは、雑誌「イメージフォーラム」（ダゲレオ出版）1986年6月号に掲載されたベルリン国際映画祭のレポート記事でした。その後、劇場上映やTV放映へとつながる事態には至りませんでした。事態が好転したのは戦後50年を目前に控えた1994年の秋。フランスの公的機関が出資を決め、ユニ・フランス東京と東京日仏学院（現アンスティチュ・フランセ日本）が協力して日本語字幕をつけ、日仏学院での上映や大学などでの自主上映に便宜をはかることが決定。1995年1月27日（アウシュヴィッツ強制収容所解放から50年）日仏学院にて試写会が実施されました。これ以後「SHOAH ショア」は日本のマスコミに一大センセーションを巻き起こし、テレビでの全編放送や劇場公開が実現。
フランス政府と多くの日本人関係者の手で実現した日本上陸から20年が過ぎた今、日本版DVDは絶版となり入手困難で“幻の傑作”となった「SHOAH ショア」がスクリーンに蘇ります。
戦後70年を迎え、冷戦終結後の混迷する世界に生きる私たちにこの映画は何を語りかけてくれるのでしょうか。耳を傾け、目を凝らして観て下さい。考えるのはあなたです。

※『SHOAH ショアー』（クロード・ランズマン著、高橋武智訳・作品社刊）の解説部分を参考にさせていただきました。

SHOAH ショア

1985年ニューヨーク映画批評家協会賞 最優秀ドキュメンタリー賞受賞
1985年ロサンゼルス映画批評家協会賞 特別賞受賞
1986年ベルリン国際映画祭ニューシネマ・フォーラム部門 国際批評家連盟賞受賞
1986年セザール賞 名誉セザール賞受賞
1986年全米映画批評家協会賞 最優秀ドキュメンタリー賞受賞
1986年ロッテルダム国際映画祭 最優秀ドキュメンタリー賞受賞

1985年／フランス／カラー／ 567分／デジタル
第1部（154分） 第2部（120分） 第3部（146分） 第4部（147分）
© Les Films Aleph



第二次世界大戦中、ドイツやナチスの占領下で実行されたユダヤ人の強制収容、ホロコースト（大量虐殺）の全体像を関係者の証言のみで構成した全篇9時間27分のドキュメンタリー。監督ランズマンがナチスの収容所から生還したユダヤ人、収容所の元ナチス親衛隊員、収容所の近くに住むポーランド人農夫ら膨大な数の証言者を訪ね、彼らの言葉（肉声）を収録。予備調査14カ国、350時間に及ぶ撮影。過去の記録映像や感傷的な音楽を一切排して作られた第一級の芸術作品である。

【第1部】ヘウムノ絶滅収容所の生き残り、シモン・スレブルニク。13歳半ばで収容所へ連行された彼は労働用ユダヤ人としてナチスに使われる。働きながら彼が口ずさんでいたポーランド民謡。その唄声は近隣の村人たちの記憶に残っている。第1部で、見るものに強い印象を与えるシモンは撮影時47歳に。村人たちとの再会が感動的。

【第2部】トレ布林カ収容所の元SS伍長フランツ・ズーホメルが自宅で地図を指し示しながらユダヤ人移送の詳細を説明。隠し撮りで記録されたモノクロの荒い映像による衝撃。ユダヤ人移送に使われた蒸気機関車を運転していたヘンリク・ガフコフスキの証言。当時と同じ線路の上を移動するカメラの映像が心に残る。

【第3部】トレ布林カ収容所からの生還者アブラハム・ボンバは、かつてドイツ兵の命令に従い、ガス室内で女性収容者の髪を刈らされた経験について証言。イスラエルで理髪店を営む彼は、当時を思い出しやがて涙ぐみ沈黙。ユダヤ人移送列車のダイヤ運行を仕切っていたドイツ国鉄のヴァルター・シュティールによる驚きの発言が、ホロコーストの無慈悲さを体現。

【第4部】イギリスにあったポーランド亡命政府の密使としてロンドンとワルシャワ抵抗組織の連絡役を務めたヤン・カルスキが、涙ながらに語るワルシャワ・ゲットーの実体と悲劇的な状況。歴史学者ラウル・ヒルバークの証言で明らかになるゲットー最後の日々。ゲットー蜂起に参加した戦士たちの語りに胸打たれる終幕。



クロード・ランズマン

CLAUDE LANZMANN

1925年11月27日、フランスに生まれる。第二次世界大戦中、高校在学時にレジスタンス活動へ参加。52年にサルトルやボーヴォワールと知り合い、以後ジャーナリストとして活躍。73年に初監督作『なぜイスラエルか』を発表。85年に公開した『SHOAH ショア』は世界中で大きな反響を呼ぶ。その後も『ツァハル』（94年）、『生者の世界からの訪問者』（97年）、『ソビブル、1943年10月14日午後4時』（01年）、『光と影』（08年）、『カルスキ・レポート』（10年）などのドキュメンタリー作品を数多く手がける。最新作は『不正義の果て』（13年）。フランスでのレジスタンス運動の功績に対しレジスタンス勲章を授与され、国家功労大十字勲章も受賞。2013年2月にはこれまでの功績に対しベルリン国際映画祭名誉金熊賞が送られた。

ソビブル、
1943年10月14日午後4時
SOBIBOR,14 OCTOBRE 1943, 16 HEURES

2001年カンヌ国際映画祭正式招待作品
2001年／フランス／カラー／ 98分／デジタル
© Les Films Aleph, Why Not Productions



映画「SHOAH ショア」の後半で明らかにされた収容所でのユダヤ人による武装蜂起の計画と挫折。ガス室での殺害を中止に追い込んだソビブル収容所。脱走者400名近くのなかで、たった100人の生存者しかいなかった過酷な逃亡劇。16歳でワルシャワ・ゲットーから収容所に連行されたイエフダ・レルネルの証言をもとに“ユダヤ人は羊のようにおとなしく殺されていったのではない”という事実を明らかにしていくランズマン幻の傑作。

不正義の果て
LE DERNIER DES INJUSTES

2013年カンヌ国際映画祭公式選出作品
2013年／フランス、オーストリア／カラー／ 218分／デジタル
© 2013 SYNECDOCHE - LE PACTE - DOR FILM - FRANCE 3 CINEMA - LES FILMS ALEPH



ランズマン監督の最新作。アドルフ・アイヒマンが大戦中、世界を欺くために選んだ“模範収容所”テレージェン・シュタットの真実を同収容所の生還者でユダヤ人長老ベンヤミン・ムルメルシュタインの証言で明らかにした本作。撮影監督ウィリアム・リュブチャンスキー、キャロリーヌ・シャンプティエによる映像やナチスのプロパガンダ・フィルム等を効果的に使用し、アイヒマンの知られざる性格面を白日の下にしたこの作品は、ホロコーストに関する偉大な歴史的解明のひとつと言える。

配給：マーメイドフィルム 宣伝：VALERIA、PALETTE 配給協力：コピアボア・フィルム
後援：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本 協力：NPO 法人ホロコースト教育資料センター
イスラエル大使館、岩波書店、凱風社、柏書房、河出書房新社、作品社、白水社、みすず書房、未來社